

中学校第1学年 音楽科 題材名「日本の民謡に親しもう」

1 本題材で人権教育を進めるにあたって

本題材は、民謡との出会いを通して我が国の伝統文化に対する興味・関心を高めるとともに、その味わいや特性をとらえさせることをねらいとしている。

民謡は、労働や風習など生活の中から生まれ、人々の暮らしを支えてきた音楽であり、今の時代にも大切に受け継がれていることに大きな価値がある。しかし、生徒が日頃親しんでいる音楽とは音色や旋律、拍などが異なっており、ふれる機会も少ない。この現状を踏まえ、生徒たち自らが選曲した民謡について発声を工夫したり、歌詞の内容を生かしたりしながら民謡に親しませる。民謡が生まれた背景や受け継がれてきた歴史を理解する活動を通して、民謡をこれまで受け継いできた先人たちの思いに気づき、尊重しようとする態度を育成したい。

そのための手立てとして、歌詞の内容をしっかりと聴き取ることに重点を置き、その背景に迫らせたい。また、実際に歌唱活動を行うことで、感じ取ったことを表現につなげ、民謡のもつエネルギーを体感させたい。

2 題材の目標

民謡の生まれた文化や歴史的背景を理解するとともに、様々な種類の民謡を味わいながら鑑賞する。

日本の民謡に親しみ、それぞれの民謡の特徴にふさわしい歌い方を工夫する。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

○民謡が生まれた背景や受け継がれてきた歴史に迫ることを通して、これまで受け継いできた先人たちの思いに気づき、尊重しようとする。(価値的・態度的側面)

○あたたかい拍手や感想などの返しや、相手を大切にしたい聴き方ができる。(技能的側面)

4 指導のポイント

(1) 人権感覚を育てる上で大切にしたいポイント

○民謡を聞く際には、歌詞の内容を聴き取りながら、どのような場面でどのような人たちが歌っていたものかを考えさせるなど、民謡がつくられた背景を大切に扱う。

○民謡の歌唱の際は、楽譜は提示せず歌詞のみを使用することで、生活の中から生まれてきた歌詞のもつ意味や表記、背景にあるもの等を大切にしながら歌わせる。

- 生徒のグループ活動を円滑に進めるために、特徴をつかみやすく音域も無理のないものを、あらかじめ教師が数曲準備しておく。
- 相手を大切にしたい聴き方や発表の仕方を確認させ、支持的な雰囲気をつくる。
 - ①聴き手「発表者に注目する(体を向けて・声に集中)」、「発表者に安心感を与える(表情・うなずき・反応)」、「発表者に返しをする(温かい拍手・感想)」
 - ②発表者「声の大きさ・目線・表情」、「聴いてほしいポイントをしっかりとアピールする」、「自分たちが工夫したことを堂々と発表する」、「自分たちが選んだ民謡の魅力をみんなに分かりやすく伝える」

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

- ①自己存在感
自分たちで選曲したり練習したりしたことをみんなの前で堂々と発表させる。
- ②共感的人間関係
個人やグループの発表の場面において、相手を大切にしたい聴き方や発表の仕方について確認し合い、支持的な雰囲気の中で学び合わせる。
- ③自己選択・決定
自他の考えや発表を踏まえた上で民謡についてまとめることで、知覚・感受力を高めさせる。

5 学習の流れ

(1) 指導計画(4時間取り扱い)

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 民謡の起こりや種類を知り、人間の生活にとって欠かせないものであったことを理解する。	○日本の民謡が、人々にどのような力をもたらしていたかを考えさせ、互いの意見を交流し合わせる。
2 グループに分かれて選曲をし、その民謡について分担して調べたり歌ったりして、理解を深める。【2時間】	○つくられた背景や唄に込められた思いや願いを理解し、歌唱活動につなげる。 ○グループ学習では役割を分担し、協力しながら活動させる。
3 グループ毎に最終練習をし、民謡の発表会を行う。 音や言葉を用いて、民謡についてのイメージや思いを相互に伝え合うことで、民謡への理解をさらに深め、関心を高める。(本時)	○自分たちで選曲し、練習したことをみんなの前で堂々と発表させる。 ○発表の場で、相手を大切にしたい聴き方や発表の仕方について確認させ、支持的な雰囲気の中で学び合わせる。 ○自分や他の人の考えを整理して考えを表わさせる。

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (4 / 4時間目)

目標

◇民謡に込められた思いや願いを感じ取りながら発表することができる。

人権教育で育てたい資質・能力

◆民謡をこれまで受け継いできた先人たちの思いに気付き、尊重しようとする
ことができる。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
<p>1 民謡の発声や言葉の特性や、民謡の分類について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">民謡のよさを感じながら、それぞれの表現方法で発表しよう</div>	<p>○民謡は人々の生活の中から生まれたことなど、再度押さえる。</p>	<p>ワークシート ①</p>
<p>2 グループで、発表に向けての最終確認や歌唱の練習を行う。</p> <p>3 発表会を行う。</p> <p>◎発表者</p> <p>(1) 説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この民謡を選んだ理由 ・調べたり練習したりして分かったことや感じたこと ・「ここを聴いてほしい」というPRポイント <p>(2) 民謡を発表する。</p> <p>◎聴き手</p> <p>(1) 各班の発表に対して、気付きや感想をメモする。</p> <p>(2) 発表者に感想を伝える。</p>	<p>○一人一人が自分の役割を意識しながら活動しているか、各グループの様子を観察しながら、必要に応じて支援を行う。</p> <p>○相手を大切にした聴き方や発表の仕方を確認することで、発表者が発表しやすい雰囲気をつくる。</p> <p>○発表者は、その民謡にはどのような背景がありどのような思いや願いが込められているかを聴き手に伝えさせる。</p> <p>◇民謡に込められた思いやよさを感じながら、その民謡に合った表現方法で発表している。</p> <p>○聴くポイントを明確にし、それぞれの班の発表を聴かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の出し方 ・表現の工夫 ・どんな場面を想像したか ・参考になったところ 	<p>練習のアドバイス (6「資料」参照) 4(1)参考</p> <p>発表者はワークシート②を基に発表</p> <p>聴き手はワークシート③に記入</p>
<p>4 民謡の学習を通して感じたことについて振り返る。</p>	<p>◆民謡をこれまで受け継いできた先人たちの思いに気付き、尊重しようとしている。</p>	<p>ワークシート ②</p>

6 資料

「日本の民謡に親しもう」

ほんじ
本時のめあて

() は人々にとってどのようなものだったのかを探ろう

つぎ 民謡 き
次の民謡を聴いて、どのような場面を想像しましたか。

	きょく 名 曲 名	とどうふけん 都道府県	どのような場面を想像したか ばめん そうぞう	しゆるい 種類
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

() の種類

など

() は () のなかから生まれた。

() は人々にとってどんな存在だったでしょう。

「日本の民謡に親しもう」

ブロック	民謡	曲名「	」
------	----	-----	---

民謡の種類	仕事歌、踊り歌、子守歌・・・など。
-------	-------------------

なぜこの曲を選びましたか？

この曲の説明（どのようにして生まれたか。歌詞の意味。誰が歌っていた民謡か）

練習して気づいたことや感じたこと

聴いてほしいポイント

「日本の民謡に親しもう」

ほんじ
本時のめあて

民謡のよさを感じながら、それぞれの表現方法で発表しよう。

はつびょう き
発表を聴いてメモしましょう。

はん 班	こえ だ かた ひょうげん くふう 声の出し方や表現の工夫など	そうぞう かん さんこう 想像したことや感じたこと、参考になったことなど

きょう がくしゅう とお きづ かん か
今日の学習を通して気付いたこと、感じたことを書きましょう。

【解答例】

にほん じんよう した
日本の民謡に親しもう」

ほんじ
本時のめあて

(民謡) は人々にとってどのようなものだったのかを探ろう

(民謡) の種類

仕事歌

踊り歌

祝い歌

子守歌

など

(民謡) は (人々の生活) の中から生まれた。

(民謡) は人々にとってどんな存在だったでしょう。

(例) 暮らしの中にある喜怒哀楽を表してあり、労働、祝いや祭、
娯楽の場など、人々になくてはならない存在だった。